

上野原機械器具工業協同組合(小保精三理事長)は、本年度山梨県知事から、中小企業労働力確保法に基づき雇用管理の改善計画の認定を受け、当該計画に基づく構成中小企業者の人材の確保や労働者の職場定着を図るための雇用管理の改善に関する事業(中小企業人材確保推進事業)に取り組んでいる。

当組合の位置する上野原市は、山梨県の最東部で、東京都と神奈川県に隣接しており、首都圏から県内への東の玄関口として重要な拠点となっており、かつては甲斐絹の盛んだった地域で、織機の製造修理の需要が機械産業の母体となり、鉄工場を育成し時代の動きと共に転進し、電気機械器具、自動車、精密機械器具、更には近代産業の半導体関連の製造業が数多く立地している。

しかしながら、地域の特性として東京や神奈川県等の近郊の地域へ労働者が流出しており、労働力不足が顕在化しつつあり、特に若年労働者が不足している。

また、中小企業を取り巻く環境や個々企業の職場環境等、様々な要因から、新規学卒者や有能な人材の確保・定着に各企業とも苦慮している。

このような状況から、組合として積極的な広報活動と労働時間の適正管理等の職場環境の改善や技能の習得と継承等、雇用管理全般にわたる改善事業に取り組むことにより、構成員企業の魅力を高め、人材の確保と定着を促進するため、本年度から3年間取り組んでいくこととなった。



◀企業ガイドブック

初年度は、労働力需給及び雇用管理状況調査等の実態調査の実施、企業ガイドブックの作成、社会保険制度等の労働セミナーや技術力向上のセミナーを開催し、労働環境の改善や雇用の拡大を図り、未来産業の動向に期待を寄せ真剣に取り組んでいる。



講師の雨宮社会保険労務士



労働セミナー